

2020年3月23日発行

2019年度第3号

三育だより

学校法人三育学院 東京三育小学校

〒177-0053 練馬区関町南2-8-4

TEL 03-3920-2450

URL <https://www.tokyosaniku.ed.jp/>



校訓「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。」(口語訳聖書)

「特別な卒業式」

学校長 平田 理(ひらた まこと)

何から何まで特別な状況の下で、柔軟な対応を余儀なくされた第71回卒業生が旅立っていきました。新しい時代が幕を開け、アジアで初めて開催されたラグビーワールドカップ、60年ぶりに2度目のオリンピック・パラリンピック東京大会の開催が予定される年。



一方で、目に見えない新型コロナウイルス蔓延の不安感が満ちる社会や世界。新しい一步を踏み出す12歳の背中を、「いつものように」力強く押し出す勇気が心もとないです。それでも、季節は廻り、校庭の桜花は彼らの門出を知ってか、季節外れの祝花三輪を手向けていました。

「あたりまえ」の出来事や時間が、実は、多くの要因が重なり合って保たれていることを知り、日常が「非日常の連続」であることを思い知ることになった旅立ちの時でした。

この卒業生たちは、昨年来、準備してきた沖縄への修学旅行においても荒天の憂き目に遭遇し、自然体験学習のハイライトとも言える伊江島離島体験が叶いませんでした。更に例年10月に開催されご好評を得ている「三育バザー」は近年では例にない、台風直撃での中止。ユニセフ募金に協力するために、自己資金を捻出する「エコ雑巾」販路の機会は露と消えました。そして、在校生、教職員、卒業生が創り上げる伝統の卒業式、関連行事は「見えないウイルス対策」としての「臨時休校」による自粛や時間短縮。小学校生活の総まとめの時間は、ほんの一瞬で終えねばなりませんでした。

しかし、彼らは多くのつぶやきや文句を封印し、残念な気持ちと共に「感謝する」姿勢を貫きました。修学旅行では、避難指示が出る荒天の下ではありましたが、訪問先に到着するごとに雨脚が弱まり、時には薄日が差し、楽しみました。離島へのフェリー欠航の知らせに呆然としている中、ホテル内のプールを専有させて頂ける特権がご厚意で与えられ、心ゆくまで水遊びを満喫できました。現地のいつもお世話になっているバス会社の運転手、ガイドも「この子たちは、本当に『持っていますね』」と、感心し、不思議なことを目撃した感想を述べられました。エコ雑巾は多くの保護者、教会員の皆様が善意を寄せて下さり、ユニセフ募金にも協力できて、誰かの幸せを創り出す願いが叶いました。

彼らは心の平静を保つには困難な状況の下であっても、「与えられた機会を感謝し、喜ぶ姿勢を貫く」ことで、神様が最善で、最適を用意されることを実物教訓として学んだのではないのでしょうか。

本校伝統の「威風堂々」(作曲E.Elgar)と共に入場する、「特別な卒業生」のひとり一人の表情からは、幼さが薄れ、如何なる困難にも立ち向かい、乗り越えていく自信の芽生えを感じ、その背後から「これが道だ、これに歩め」と導き、支えられる神様への信頼が垣間見えた「特別な卒業式」でした。



Tokyo San-iku Elementary School

Since 1898

東京三育小学校

校内行事報告

イ ンターナショナル・ブック・ウィーク

4日間にわたって、4名の保護者の方々に、英語の絵本の読み聞かせをしていただきました。昼休みに、連日多くの児童が図書室に集まり、目を輝かせながら楽しみました。



学 習発表会

2月16日、1年間の学習の集大成として、各学年ごとに、英語・聖書・生活・総合・算数など、様々な分野の内容について学んだことを発表しました。



ス ケート教室

毎年恒例の1～3年生対象のスケート教室が行われました。初心者の方もコーチに正しい滑り方を教えていただき、氷に立ち滑ることができるようになりました。「もっと滑りたい!」「もっと教えてもらいたい!」との声が多く上がるほど、熱心に取り組み、楽しみました。

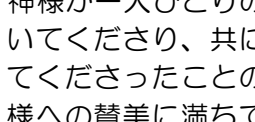


芸 術鑑賞会

2月25日、三育系列校の卒業生と、若手演奏家の方々・3名による、古楽器のリコーダ、チェンバロ、チェロのアンサンブルを聴きました。チャペルは、中世ヨーロッパにいるかのような音色で満たされました。なかなか目にする事ができないチェンバロの構造や、子どもたちが音楽の授業で使っているリコーダとは異なる音の世界に、興味深く、貴重な説明をお聞きし、古楽器の奏でる美しい演奏に時を忘れるほどでした。



卒 業祈禱週



2月25日～28日まで、6年生による卒業祈禱週がもたれました。神様が一人ひとりのお祈りをさいてくださり、共にいて、働いてくださったことの証しは、神様への賛美に満ちていました。

早天祈禱会と昼休みの祈りの時間もあり、たくさんの祈りの1週間でした。

卒 業式



3月15日(日)第71回卒業式を挙行了しました。新型コロナウイルス感染症による、社会の様々な自粛要請の中で、制約の多い卒業式となりましたが、会衆一同、神様への感謝でいっぱいでした。神様によって集められ、共に育った14名は、学び舎は異なりますが、これ



からも大切な仲間であり、神様によって心は一つ・One Teamです。一人ひとりを神様が豊かに祝福して下さり、平和を創り出す使者としてそれぞれの場所で豊かに用いてくださいますように。

3学期は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2月29日より臨時休校措置を取らざるを得なくなりましたが、多くの皆様のお祈りに支えられ、14名の卒業生を無事に送り出すことができました。4月6日まで春休みとなります。また来年度もどうぞよろしくお願いいたします。